



泽华 YOHEI Veda 上田

1976年京都府生まれ。滋賀県在住。 滋賀県立大学地域共生センター特任講師。 滋賀県立大学大学院人間文化学研究科一

一地域文化学専攻博士課程単位取得退学。

専門は地域文化学、地域学。

地域住民が自らの五感体験を素材として「環世界」 的な地域像(ふるさと絵屏風)を描き語る、 多世代共創型まちづくりの手法「心象図法」を開発。 同手法は広く各地に普及しつつある。

著書に『場づくりから始める地域づくり (共著・学芸出版、2021年)』ほか。

「ふちさと絵屏風」とは?

ふるさと絵屏風とは、地域の人々の暮らしや 文化を一枚の絵に描き、屏風として表装した もので、地域文化の伝承や発信に役立てる まちづくりの手法です。

上田洋平講師が考案し、

各地域で住民が作成しています。

滋賀県を中心に全国に拡がりはじめています。

小値賀の歴史や文化、伝承、伝説、 そして島のみなさんの「五感の記憶」を 一緒に絵屏風に描いてみませんか?

布袋座二○一九 1 8 7 3 $\begin{array}{c} 3\\9\\0\\4 \end{array}$